

内閣官房

平成27年行政事業レビュー事業単位整理表兼点検結果の平成28年度予算概算要求への反映状況調査

(単位:百万円)

事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了(予定)年度	平成26年度		外部有識者コメント	行政事業レビュー推進チームの所見		平成27年度 当初予算額 A	平成28年度 要求額 B	差引き B-A=C	反映状況		備考	担当局/庁	会計区分	項・事項	平成26年 レビュー シート 番号	外部有識者チェック 対象(公開プロセス含む) ※対象となる場合、理 由を記載	委託 調査	補助 金等	基金			
				執行 可能額	執行額		評価結果	所見の概要				反映額	反映内容												
いずれの施策にも関連しないもの ※内閣官房等は行政機関が行う政策の評価に関する法律に基づく政策評価の対象外である。																									
0001	内閣人事局経費	平成26年	-	29	29	10	支出先のAとの関係が、全て随意契約であることには、疑問を感じる。Aの1-名の事業者との契約が、結果的に有益であるとしても、それら事業者の選定に際しては、より競争が機能しやすい方法が模索されても良いのではないか。予定されている研修に際して、秘密にすべき事項だけを除外すれば、場所提供者等の選択は、入札によって対応できるように思われる。	現状通り	引き続き必要経費を精査すること。また、外部有識者の所見を踏まえ、今後の事業の調達方法について必ず検討すること。	43	35	▲9	-	現状通り	規模が大きい研修の会場借料については、政務が出席するための整備上の問題、宿泊施設を伴う研修会場等制約がある中で、公募により競争性を確保しているほか、その他少額契約の案件については、できる限り複数社から見積りを聴取するなど、引き続き競争性の確保を図っていく。	平成26年5月総務省から移管	内閣人事局	一般会計	(項)内閣官房共通費(大事項)内閣官房一般行政に必要な経費	0018	その他				
0002	高度情報通信ネットワーク社会推進経費	平成12年	-	53	53	43	平成25年対象	現状通り	引き続き調査・研究を行う必要性の検証を行い、競争性の確保などにより、予算の効率的執行に留意すべき。	46	116	70	-	現状通り	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、引き続き予算の効率的執行に努める。	「新しい日本のための優先課題推進枠」85	IT総合戦略室	"	"	0001	平成25年対象				
0003	総合海洋政策経費	平成20年	-	37	37	38	平成25年対象	現状通り	昨年に引き続き前年度に比べ単当たりコストが増加している。調査内容及び方法の更なる見直しや、事業の適切な進捗管理、契約における競争性の確保などにより、予算の効率的執行に留意すべき。	42	72	30	-	現状通り	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、引き続き、調査内容の見直しや、契約における競争性の確保等により、予算の効率的な執行に努める。	「新しい日本のための優先課題推進枠」29	総合海洋政策本部事務局	"	"	0004	平成25年対象				
0004	新型インフルエンザ等対策経費	平成25年	-	16	16	2	平成26年対象	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、契約における競争性の確保などにより、予算の効率的執行に留意すべき。	10	20	10	-	現状通り	・対応能力の向上のみならず、国民への普及・啓発も目的であるため、来年度以降も毎年必要な経費である。委託する事業については、総合評価簿札方式を採用するよう検討	「新しい日本のための優先課題推進枠」11	新型インフルエンザ等対策室	"	"	0016	平成26年対象				
0005	拉致問題対策経費	平成18年	-	122	122	65	点検対象外	現状通り	引き続き、内外広報活動については、実施方法に留意し、効果の検証を確に行うべき。	173	142	▲31	-	現状通り	現在実施している各種広報活動(パンフレット・ホームページ等の情報発信型、国民の集い・コンサートの実施などの参加型)について、配布、閲覧、集客いずれも高い状況にあるため、引き続き実施する。平成28年度はさらに理解促進等の取り組みの強化を図るため新たに2つの事業を実施する。	「新しい日本のための優先課題推進枠」92	拉致問題対策本部事務局	"	"	0003					
0006	国土強靱化政策推進経費	平成26年	-	141	141	103	基本計画策定のため、26・27年度に12件の調査が行なわれるとあるが、各調査の基本計画策定に対する「寿命度」が全く示されていない。基本計画策定に必要な調査項目の全体像と、今後、どのように基本計画策定の前提が整い、何年度に基本計画が策定されるのか、計画策定の段階が示されるべきものと思われる。	現状通り	必要経費を精査した上で、外部有識者の所見を踏まえ、今後の事業の進め方について必ず検討すること。	142	171	29	-	現状通り	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、引き続き事業の適切な進捗管理、契約における競争性の確保などにより、予算の効率的な執行に努め、引き続き、事業の進め方について必ず検討すること。	「新しい日本のための優先課題推進枠」49	国土強靱化推進室	"	"	新26-0001	前年度新規				
0007	領土・主権内外発信推進経費	平成26年	-	20	20	19	日本の対外政策として重要な分野であり、積極的に取り組むべきだと考える。ただし、このままで良いのかどうか、さまざまな視点で再評価するべきであろう。	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、契約における競争性の確保などにより、予算の効率的執行に留意すべき。また、外部有識者の所見を踏まえ、今後の事業の進め方について必ず検討すること。	38	44	6	-	現状通り	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、引き続き、事業の適切な進捗管理、契約における競争性の確保などにより、予算の効率的執行に努める。	「新しい日本のための優先課題推進枠」14	領土・主権対策企画調整室	"	"	新26-0002	前年度新規				
0008	健康・医療戦略経費	平成24年	-	21	21	17	平成25年対象	現状通り	昨年に引き続き前年度に比べ単当たりコストが増加している。調査内容及び方法の更なる見直しや、事業の適切な進捗管理、契約における競争性の確保などにより、予算の効率的執行に留意すべき。	22	32	10	-	現状通り	所見を踏まえ、今後とも引き続き効果的・効率的な予算の執行に努めていく。	「新しい日本のための優先課題推進枠」14	健康・医療戦略室	"	"	0006	平成25年対象		○		
0009	地域活性化推進経費	平成13年	-	67	67	60	平成26年対象	現状通り	引き続き、事業の進捗状況の把握に努め、実施に即した適正な予算となるよう留意すべき。	62	43	▲19	-	現状通り	事業の進捗状況等を踏まえ、実施に即して積算した。		内閣官房副長官補(地域活性化担当)	"	"	0002	平成26年対象		○		
0010	緊急事態に備えた調査・研究等経費	平成17年	-	65	65	37	緊急時の対応のあり方について、「成果目標」が設定できないのは当然と思われるが、そうであるならば、「事業の有効性」に関する評価については答えにくいのではないか。とりわけ、「成果実績」と「成果目標」の関係は、この前提からいえば論理的に答えられない、ということになるのではないかと。	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、契約における競争性の確保などにより、予算の効率的執行に留意すべき。また、外部有識者の指摘を踏まえ「成果目標」「成果実績」の考え方を整理すること。	65	65	-	-	現状通り	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、引き続き事業の適切な進捗管理、契約における競争性の確保などにより、予算の効率的な執行に努めるとともに、外部有識者の所見を踏まえ、成果目標、成果実績等の考え方の整理に努める。		内閣官房副長官補(事態対処・危機管理担当)	"	"	0007	その他				
0011	緊急事態対処に必要な経費	平成22年	-	0	0	0	過去3年の範囲しか見ることができないが、不要率が過大ではないかと疑われるおそれがある。この疑問に答えるためには、そもそもどれくらいの不要率が適正なのかという説明、あるいは必要予算の規模についての説明などが必要なのではないだろうか。いずれにしても適正な規模の予算であるかどうかという点について、丁寧な説明が望ましい。	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、契約における競争性の確保などにより、予算の効率的執行に留意すべき。また、外部有識者の所見を踏まえ、執行不用についての考え方を整理し、適正な予算規模の説明及び執行を行っている旨の説明を行うこと。	0	0.5	0	-	現状通り	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、引き続き事業の適切な進捗管理、契約における競争性の確保などにより、予算の効率的な執行に努める。本件は、沖繩における在日米軍関連の重大事故が発生した時の事故現場における情報集約、政府中核への報告等にかかる対応強化のための緊急事態対処に必要な経費であることを踏まえ、活動拠点車両の適切な維持・運用等の予算執行の考え方について整理及び適正な予算規模であることを説明し、予算の効率的執行に留意することとする。		内閣官房副長官補(事態対処・危機管理担当)	"	"	0009	その他				
0012	内閣広報経費	平成16年	-	86	86	123	点検対象外	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、契約における競争性の確保などにより、予算の効率的執行に留意すべき。	91	97	6	-	現状通り	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、引き続き事業の適切な進捗管理、契約における競争性の確保などにより、引き続き、効率的な執行に努める。		内閣広報室	"	"	0011					
0013	サイバーセキュリティ戦略本部等経費	平成14年	-	78	78	66	点検対象外	現状通り	事業の必要性は認めるが、前年度に比べ予算が増額となっており、業務の内容を精査し、引き続き執行実績に見合う予算計上となっているか検討すべき。	108	125	17	-	現状通り	今後とも業務の内容を精査し、引き続き執行実績に見合う予算計上となるよう努める。	「新しい日本のための優先課題推進枠」17.1	内閣サイバーセキュリティセンター	"	"	0008, 0010					
0014	政府CIO制度の推進経費	平成25年	-	191	297	220	平成26年対象	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、契約における競争性の確保などにより、予算の効率的執行に留意すべき。	159	347	188	-	現状通り	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、引き続き予算の効率的執行に努める。	「新しい日本のための優先課題推進枠」204	IT総合戦略室	"	(項)内閣官房共通費(大事項)情報の収集及び分析その他の調査に必要な経費	0015	平成26年対象				
0015	社会保障・税番号情報通信システム開発経費	平成24年	-	13,336	14,965	5,700	平成25年対象	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、契約における競争性の確保などにより、予算の効率的執行に留意すべき。	6,200	9,539	3,340	-	現状通り	事業の適切な進捗管理、契約における競争性の確保などにより、予算の効率的執行に努める。		社会保障改革担当室(番号室)	"	"	0013	平成25年対象				
0016	内閣サイバーセキュリティセンター情報システム等経費	平成18年	-	907	907	203	点検対象外	現状通り	事業の必要性は認めるが、前年度に比べ予算が増額となっており、引き続き執行実績に見合う予算計上となっているか検討すべき。	742	1,140	398	-	現状通り	今後とも業務の内容を精査し、引き続き執行実績に見合う予算計上となるよう努める。	「新しい日本のための優先課題推進枠」973.5	内閣サイバーセキュリティセンター	"	"	0012					
0017	情報収集衛星の研究・開発	平成10年	-	56,115	62,551	56,558	点検対象外	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、契約における競争性の確保などにより、予算の効率的執行に留意すべき。	46,766	55,217	8,451	-	現状通り	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、引き続き予算の効率的執行に努める。	「新しい日本のための優先課題推進枠」14,142	内閣衛星情報センター	"	(項)情報収集衛星業務(大事項)情報収集衛星システム開発等に必要経費	0014					
行政事業レビュー対象 計				71,284	79,455	63,264				54,710	67,205	12,496	-												
行政事業レビュー対象外 計				39,860	41,207	38,216				41,529	51,114	9,585													
合 計				111,144	120,662	101,480				96,239	118,319	22,080													